

【令和7年度大崎市地域自治組織活性化事業交付金の採択事業】

※令和7年8月24日時点

◆令和7年度 採択【（ ）内は申請件数】

ステップアップ事業交付金 2件(2件) 337,200円

チャレンジ事業交付金 3件(5件) 1,737,000円

令和7年6月15日第1回本審査・大崎市図書館2階 研修室2・3

【チャレンジ事業交付金】

NO	申請団体名	事業名	交付申請額
1	三本木まちづくり協議会	三本木まちづくり協議会教育部会 二階堂トクヨ先生 教育・文化・歴史の顕彰 及びPR事業	96,000円
2	岩出山地域づくり委員会	イワデヤマンスリー 秋のさんぽ市(仮) PRのための取り組み	1,000,000円
合計			1,096,000円

令和7年8月24日第2回本審査・大崎市図書館2階 研修室2・3

【ステップアップ・チャレンジ事業交付金】

NO	申請団体名	事業名	交付申請額
1	鹿島台まちづくり協議会 安全で快適委員会	標語からはじまる地域づくり (交通安全 はじめの一步)	137,200円
2	鬼首地域づくり委員会	鬼首伝統文化継承事業 「鬼首神楽の保存・継承」	200,000円
3	田尻まちづくり協議会	加護坊里山散策路エスケープルート整備事業	641,000円
合計			978,200円

※NO1～NO2はステップアップ事業交付金, NO3はチャレンジ事業交付金の採択となります。

◆これまでの累計

ステップアップ事業交付金 107件 19,657,300円

チャレンジ事業交付金 51件 26,115,668円

計 158件 45,772,968円

令和7年度大崎市地域自治組織活性事業交付金採択事業の詳細

No.1	団体名：三本木まちづくり協議会	代表者：伊東 仁
	事業名称：三本木まちづくり協議会教育部会 二階堂トクヨ先生 教育・文化・歴史の顕彰及びPR事業	
	<p>三本木地区の郷土の偉人であり、日本女子体育大学の創設者である二階堂トクヨ先生のパンフレットを作成し、その偉業を内外に広く周知、三本木地区の郷土の誇りを高める。</p> <p>三本木地区内への配布に加え、市内の学校・図書館・公民館などにも配架してもらう。また、県内外の関係者にも郵送し、日本女子体育教育の母としての二階堂トクヨ先生の偉業を次の世代へ継承していくことを目的とする。</p>	

No.2	団体名：岩出山地域づくり委員会	代表者：小野 一志
	事業名称：イワデヤマンズリー 秋のさんぽ市(仮) PRのための取り組み	
	<p>近年の岩出山地区では、特に秋の季節に官民間問わず多くのイベントが開催され賑わいをみせています。</p> <p>一方で、それぞれの団体が各々で告知・集客をはかるため、同日開催なのに別会場のイベントを知らないなどの機会ロスも起きています。</p> <p>秋のイベント情報を取りまとめて発信する媒体を当委員会が作ることで、街の回遊を生み相乗効果を高め、来街者の満足度向上はもちろん、岩出山住民にとっても地域の一体感創出、シビックプライドの醸成を図りたいと思います。</p>	

No.3	団体名：鹿島台まちづくり協議会安全で快適委員会	代表者：千葉 榮
	事業名称：標語からはじまる地域づくり（交通安全 はじめの一步）	
	<p>今年度、鹿島台地域にある2箇所の交通安全の看板を修繕し、その看板に掲載する標語を地元小学生から募集します。</p> <p>標語募集を通じて関わった人が、「自分たちにできる交通安全は何か」「自分なら何を伝えたいか」「何ができるか」など、交通安全について考えてもらうきっかけをつくることを目標にした事業です。</p> <p>今回の事業を通じて、今後、交通安全に関心を持つ人や、関わろうとする人が一人でも増えることを期待しています。</p>	

No. 4	団 体 名：鬼首地域づくり委員会	代表者：大沼 幸男
	事業名称：鬼首伝統文化継承事業「鬼首神楽の保存・継承」	
	<p>鬼首神楽保存会結成100周年を記念し、令和7年11月30日（日）オニコウベリフレッシュセンターを会場に記念公演を実施。地域の暮らしに根ざした伝統文化に触れることによるシビックプライドの醸成や文化継承等へ繋げる機会として事業を企画した。</p> <p>今回は定番の源平合戦や38年振りの演目となる大蛇退治の演舞に挑戦し、性別世代、地域を超えた新しい形での民俗芸能のありかたを探ると共に、課題山積の山村でも、地域の誇りを、希望を実感できる場としたい。</p>	

No. 5	団 体 名：田尻まちづくり協議会	代表者：伊藤 重義
	事業名称：加護坊里山散策路エスケープルート整備事業	
	<p>ボランティアで整備し、JR 東日本の「駅からハイキング」コースにも選定され、多くの方々の人気の加護坊里山散策路。しかし、緊急時の避難路がないため救護事案が発生し、安全性の懸念から小学校の遠足コースから外されるなど課題が深刻化しています。</p> <p>未整備の法定外公共物を市と協働で整備しエスケープルートを確保。誰もが安心して楽しめる安全な環境を創出し、子どもたちの学びの場を取り戻すとともに、地域の魅力を未来へ繋ぎます。</p>	